

野村グループ presents

アメリカン・バレエ・シアター

ABT

AMERICAN BALLET THEATRE



白鳥の湖 Swan Lake

海賊 Le Corsaire

ABTオールスター・ガラ

ABT All Stars Gala Performance

2008 7月17日(木) → 25日(金)

スターダンサーが集うドリーム・バレエ団

ジリアン・マーフィー いよいよ日本でもブレイクの予感!!



ジリアン・マーフィー

ニーナ、ケント、ヘレーラ、カレニョ、ゴメス、コレラ...スターダンサーが多く所属するアメリカン・バレエ・シアター (ABT) の中でも、今、最も注目を集めるダンサーがジリアン・マーフィー。ABTには1996年群舞 (コールド・バレエ) として入団、1999年ソリスト、2002年にプリンシパルに昇格した生え抜きのダンサーです。

ジリアンは、イギリスのウインブルドンでアメリカ人の父、イギリス人の母のもとに生まれました。その後、父親の仕事の関係でベルギーに住んでいたころバレエを始めます。もちろん最初はお稽古事のひとつとして習い始めたようですが、すぐにその魅力にとりつかれます。レッスンの時だけでなく、家の中でも、道を歩いている時も、つま先立ちで飛び跳ねていたそう。スニーカーがすぐにボロボロになってしまっ、よく叱られた...と話してくれました。小さいころからシャイで、人前で話すことが苦手だったジリアン。でもなぜか踊り始めると自分が感じていること、伝えたいことを思う存分表現することができた、そんなジリアンがバレリーナになろうと決心したのは10歳の時。トゥーシューズ (ポワント) を履いた瞬間だったそうです。

そんなジリアンがABTのプリンシパルになり、大きな舞台を重ねる中でスターとしての華やかさを増し、今や「ニューヨークが期待するダンサー」に。

それを証明するかのよう、メトロポリタン劇場で開幕するシーズンでは、世界初演されるトワイラ・サーブ振付の新作のファースト・キャストに抜擢された他、ほとんどすべての古典全幕作品に出演します。

今年の夏、3年ぶりとなるABTの来日公演で、「白鳥の湖」では純粋で繊細で、深く豊かな感情を、「海賊」では花火のようにはじけ、きらめくエキサイティングなステージを見て欲しいと話していました。

そしてトワイラ・サーブ振付の新作は、プリンシパルを中心とする主要なダンサー6名の他に、ソリストが3カップル、コールド・バレエにまで細かな振付がなされた45分の大作。サーブはダンサーひとりひとりにむきあい、その個性を見極めてから振付を行ったそう。ブロードウェイでも活躍するトワイラ・サーブならではのユーモアに溢れたシーンや武道をイメージさせる動きもあるそうです。

今年の夏は、ABTの夏! そしてジリアン・マーフィーの夏になりそうです。どの公演もお見逃しなく!

全公演会場:東京文化会館

演目	2008年 開演時間	出演予定	チケット料金
ガラ公演	7月17日(木) 19:00 残席僅少	「マノン」寝室のパド・ドゥ ケント/ゴメス 「トワイラ・サーブの新作」マーフィー/ヘレーラ	S¥22,000 A¥18,000 B¥15,000 C¥12,000 D¥9,000 E¥6,000 ◎夢倶楽部会員 S¥21,000 A¥17,000 B¥14,000 C¥11,000 D¥8,100 E¥5,400
	7月18日(金) 19:00	「シナトラ組曲」 コープランド/コレラ 「トワイラ・サーブの新作」 マーフィー/ヘレーラ	
海賊 他	7月19日(土) 売売	アナニアシヴィリ/ゴメス/コレラ	S¥20,000 A¥17,000 B¥14,000 C¥11,000 D¥8,000 E¥5,000
	7月20日(日) 13:00	ワイルズ/スターンズ/カレニョ	
	7月20日(日) 18:00	ヘレーラ/ホルバーク/ステューフェル	◎夢倶楽部会員 S¥19,000 A¥16,000 B¥13,000 C¥10,000 D¥7,200 E¥4,500
白鳥の湖	7月21日(月・休) 13:00	マーフィー/サヴェリエフ/コレラ	
	7月23日(水) 18:30	ケント/ゴメス/ホルバーク	
	7月24日(木) 18:30	ドヴォルゼンコ/ベロセルコフスキー/サヴェリエフ	
	7月25日(金) 13:00	ヘレーラ/カレニョ/ラデツキー	
	7月25日(金) 18:30	マーフィー/コレラ/マシューズ	

※最終的な出演者は当日発表とさせていただきます。

主催:朝日新聞社/ジャパン・アーツ/TOKYO FM 特別協賛:野村グループ

デイヴィッド・ホルバーク

ジリアン・マーフィー

「桜」が満開のころ、ジリアンがプロモーションのために来日。朝から休む間もなく取材を受けるというハード・スケジュールでした。ひとつひとつの質問に真摯に応える様子、密度が濃く知的な内容、そして疲れてきても笑顔を絶やさない穏やかな人柄にインタビューアールやカメラマン、スタッフがどんどんジリアンのファンになっていく様子が印象的でした。

ABTの強みを知り尽くしたマッケンジーだからこそ出来た、ゴージャスな「白鳥の湖」。
ココがみどころ!!

☆主役の二人以外にもプリンシパルから若手までがこぞって出演。
 ☆随所にソロを散りばめた魅力満載のステージ。
 ☆鍛え抜かれた群舞の美しさ。
 ☆大きな岩場のそびえる湖や宮殿の大階段など、まるでオペラのような重厚で豪華な舞台装置。
 ☆バレエが初めての方にも楽しめる、まるでハリウッド映画のような豪華で上質なエンターテインメント。
 ☆ダンサーが数多く観られるソロの多い構成。

大注目ポイント!!
 二人が踊り分けるロットバルト。第3幕の宮殿シーンには、初めて見るロットバルトのソロが各国の王女をとりこにしてゆく、悪の怪しく美しい魅力は、主役を食ってしまいそうなくらいの見せ場!

